

通常砂防事業の効果

歴史的砂防施設の保存・利活用による地域活性化への支援

歴史的価値を有する砂防設備の保存・利活用による地域活性化の促進

〈 長野県 松本市 牛伏(うしぶせ)地区 〉

事業概要

牛伏川上流は、江戸時代中期以降荒廃し、幾多の土砂災害を引き起こしてきた。明治18年からの内務省砂防事業、明治31年以降の補助砂防事業により整備されてきたが、**近年砂防林のニセアカシアの倒木が新たな土砂崩壊を起こしている**。このため、薪材として人為的に植えられたニセアカシアを伐採し、在来種のコナラ、ミズナラ、クリ、シナノキ等を植え、樹種の転換(林相転換)をもって斜面の安定を図る。

位置図



林相転換により土砂流出を防ぐとともに、既存の歴史的砂防施設を保存・利活用し、地域活性化の促進に貢献！！

